

週刊 **タバコの正体**

タバコを吸い続けると煙が充満する口の中には、ヤニやタールがしみつきます。そのせいでタバコを吸わない人の口の中に比べ、歯や歯茎が黒ずみ、舌も汚れます。そんな黒ずんだ口もとでは、自分は気にしていなくても、他人からは健康で清潔な印象を持ってもらえないでしょうね。

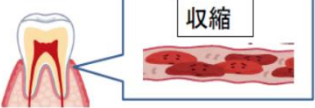



それにニコチンの血管収縮作用などで歯茎の血流が悪くなり歯周病の原因となるのです。すると将来、しっかり噛んで食事ができなくなる確率が高くなり、見た目だけではなくの健康にも大きなマイナスとなるのです。

こんな事になるのなら、タバコはやめておこうと思いますよね。

産業デザイン科 奥田恭久

タバコを吸わない人の口の中	タバコを吸う人の口の中
 <p>CHECK</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 歯の色 ● 歯茎の色や形 	 <p>CHECK</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 舌表面の汚れの付着状態
	

健康にいがた21「むし歯・歯周病」サイトから

<p>ニコチンの血管収縮作用</p> <p>血液の流れが悪くなり、栄養や酸素の欠乏、老廃物の停滞により歯肉組織を破壊する</p>  <p>収縮</p>	<p>歯内の線維化</p> <p>喫煙により歯内の血管が細くなっており、炎症が抑えられるためトラブルに気づきにくい</p> 	<p>喫煙と歯周病</p> <p>喫煙により白血球の防御能力が低下し、治りにくく再発しやすい</p> <p>免疫機能が弱っているから菌が繁殖しやすい</p> 	<p>歯肉収縮機能の低下</p> <p>治療の効果が現れにくい</p> 
--	--	--	--

日本口腔保健協会 HP から